

事業者向け 児童発達支援自己評価表

キッズランド まめの木 ばらき校

		チェック項目	はい	いいえ	わからない	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	86%	14%		<ul style="list-style-type: none"> ・机を片付けるなど工夫しながらスペースの確保に努めている。 ・運動が行えるほどのスペースはないため、子どもの体力発散のため外遊びやお出かけで対応している。 ・その日の利用者数、または組み合わせによって屋外活動を取り入れ狭い空間の中で長時間過ごすことを避けている。
	2	職員の配置数は適切であるか	86%		14%	<ul style="list-style-type: none"> ・おおむね良いと思うがもう一人パートが増えると支援の内容も濃くなり全体的に業務がはかどると思う。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		86%	14%	<ul style="list-style-type: none"> ・段差等が多いが生活上大きな支障は出ていない。危険個所の改修は日ごろから行っている。 ・段差をなくす改善を考えていきたい。 ・バリアフリー化が進んでおらず、ヒヤリハットになりそうな場面があり職員の危機管理が必要。
業務改善	4	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか(PDCA...P(計画)D(実行)C(評価)A(改善))	86%		14%	<ul style="list-style-type: none"> ・社内研修での話し合いなどで業務改善を職員全員で共有している。 ・普段の業務の合間にも話し合うことがある。 ・それらを記録をとって振り返りする部分が甘いと思うので、その点を今後行っていきたい。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	86%		14%	<ul style="list-style-type: none"> ・年一回アンケート実施し、その結果をもとにスタッフ間で話し合っている。
	6	この自己評価の結果を、事業所のホームページ等で公開しているか	57%		43%	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか(まめの木では、第三者評価は行っていない)		57%	43%	
	8	職員の資質の向上をために、研修や勉強会の機会を設けているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> ・月一回実施している。職員間の情報共有の場になっていてとてもいい機会と感じる。勉強会は各事業所オリジナルにしてもいいのではないかとと思う。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者の要望や課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> ・保護者面談や日常会話を通して要望・課題を把握して計画を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツール(知能検査・発達検査)を使用しているか	71%		29%	<ul style="list-style-type: none"> ・他の機関で検査を受けた場合、親御さんから情報提供をいただいて参考にしている。 ・一人一人にされていない現状・具体的にツールを使用するためにどうすればいいかわからないので研修の時間に話し合いを持ちたい。
	11	児童発達支援計画には、「発達支援」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	86%		14%	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者との面談や日々の成長具合を考慮し支援内容を個々に設定している。 ・おおむね該当していると思うが、地域支援の部分は少し内容が薄いのではないかとと思う。
	12	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	100%			
	13	活動プログラムの立案をチームで行っているか	100%			
	14	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> ・偏りが無いよう考えてプログラムを立てている。
15	子どもの特性や家庭状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成しているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの発達に沿った個別支援と、集団でのコミュニケーション向上のための支援を個々に応じて計画している。 ・個別と集団を組み合わせ活動を行うようにしているが、各個人の支援計画を見返して計画に沿った支援のないようになるよう心がけたい。 	

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	16	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%			・レク担当をあらかじめ決めて準備を行い、担当スタッフを中心に他の職員へ内容や手筈の伝達・確認・相談を行っている。
	17	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	57%	43%		・終了時にまとまった時間は取れないが集まった時点で振り返り反省を共有している ・必ずできているとは言えない。業務の合間に気になったことなどいるスタッフで話したりする。
	18	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	42%	29%	29%	・連絡帳に支援内容を記録している。 ・ミーティングノートにレク内容やその他気づいたことを記載することになっているがなかなか細かいは記載できていない。もっと活用できるようにしたい。 ・子どもの反応などちょっとしたことでもまずは気軽に記録すること。職員で共有できるようにしたい。
	19	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	100%			
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	86%		14%	サービス担当者会議には必ず管理者が出席している
	21	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	72%	14%	14%	・相談員を通しての連携、今のところ直接はない。 ・もう少し関係機関に働きかけをしていきたい
	22	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等の在宅支援のために、地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	43%	14%	43%	
	23	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	57%		43%	医ケア指示書の提出をお願いし連携体制をとれるようにしている
	24	保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	57%		43%	保育園、幼稚園へ出向き情報共有を図っている
	25	小学校や特別支援学校(小学部)との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	57%		43%	特支の見学や説明会への参加を行っている
	26	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		43%	57%	・機会があれば参加したい ・他の機関とのつながりをもって支援の輪を広げていくための働きかけを考えていきたい。
	27	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		86%	14%	・コロナの影響もあり機会がなかった。今後機会を作っていきたい。 ・まったくない。今後支援の輪を広げるためにも様々な場に出向いて周知する必要がある。
	28	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか		57%	43%	
	29	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%			・連絡帳に記載したり、送迎で親御さんと会うときに必ずその日の様子を伝えていく。 ・普段はなかなかじっくり話す時間をとりにくいこともあり、年1回面談にて子どもの様子を伝えたり伺ったりする機会を設けている。
	30	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	29%	57%	14%	・ばらき校としては希望があればまめの木心理士への相談をすすめている ・ペアレントトレーニングを行える技術が自分にはない。研修会で取り上げられていたのもっと勉強する必要がある。
	31	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	86%		14%	管理者より行っているが、それ以外の職員は内容についてはあまり分からないことも多い。研修の時間などに職員全員で確認し理解を深めていったほうが良いと感じる。
	32	作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	86%		14%	管理者から説明を行っている。個人面談を設けて詳しく説明できる機会もとっている。

保護者への説明責任等	33	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%			・保護者からの訴えがあれば必ず時間を取り面談を行ったり情報提供をしたり、心理相談を進めたりしている。 ・保護者から伺ったり、相談した内容をすぐに普段の支援に反映させている。
	34	保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	100%			2023年は11月に保護者会を開催。保護者間、保護者と職員の交流が行うような内容を盛り込んだ。今後は事業所単位での保護者の交流もできると尚良いと思う。
	35	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%			必ず職員間で共有し対応の体制を整えている。
	36	定期的なまめの木通信を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%			まめの木通信にて情報を発信するほか必要に応じてラインなどで保護者へ連絡を取っている。
	37	個人情報の取扱いに十分注意しているか	100%			
	38	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%			
	39	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	14%	43%	43%	・実施されていないと思う。地域交流のためのイベントを企画してもいいのではないかと思う。 ・もっと地域に根付いた行事を考案しインクルーシブの理念に沿った事業運営を目指したい
非常時等の対応	40	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知しているか	86%		14%	職員に周知されているが、保護者に対しては十分に伝えられているか少し銀門に思う。
	41	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%			毎月防災に関する内容のレクリエーションを盛り込んでいる。年2回の避難訓練(通報訓練)も実施している。
	42	事前に、予防接種やてんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	100%			契約時に発作等の確認をしている。
	43	食物アレルギーのある子どもについて、保護者の移行や医師の指示書に基づく対応がされているか	100%			保護者の意向で対応
	44	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100%			・スタッフの意目の付くところに置いていつでも閲覧できるようにしている。 ・月一回振り返りと対策の検討を実施 ・緊急性の高いものはその場で共有する ・ただヒヤリハット報告数が少ない傾向。報告書を記載することを忘れてしまう。日々の支援の中でもっとあるはずなので、スタッフ間で声掛けをしあい、小さなことでも報告することを心がける。
	45	虐待を防止するため、職員の研修や勉強会を確保する等、適切な対応をしているか	100%			研修を行い、日ごろから気を付けている。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	100%			勉強会で学んだものの、実際に身体拘束を行う事案に遭遇したことがないため、一連の流れがつかみづらい。